

資料3

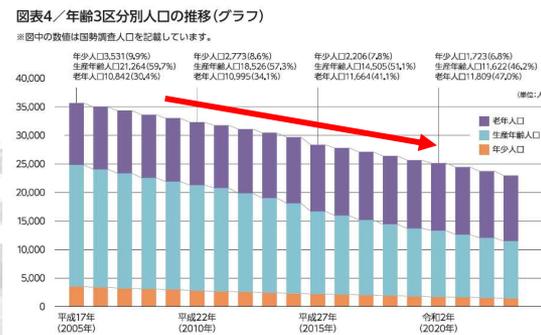
「魅力一杯の男鹿」 ～訪れる人を幸せに～

今後の行政サービスのあり方を考える
県央地域懇談会

令和8年2月12日
男鹿市長 菅原 広二

人口・世帯数の減少と人口構成の変化

総人口	59,955人 (1955)	⇒ 25,154人 (2020)
年少人口	3,531人 (2005)	⇒ 1,723人 (2020)



次期男鹿市総合計画で目指す姿

『人口減少社会に対応した 元気で心豊かに暮らす男鹿』

人口減少緩和策

と

人口減少適応策

将来
指標

1人当たり市民所得(R11)
288万円

将来人口 (R17)
17,000人

市民幸福度 (R10)
90%以上

【最重要課題である人口減少対策として3つの重点戦略】

重点
戦略

産業力の強化

子育て環境
日本一への取組

防災力の強化

教育・保育施設の再編

- 利用児童数の減少及び運営の効率化を図るため
教育・保育施設の統合計画に基づき

令和7年度より **7園→5園** へ再編



ふなこしこどもネット
認定こども園 男鹿市立船越こども園

令和7年度 新設
定員：250名
延床面積：2,602.9㎡

統合に伴う“遠距離通園支援”のため
保育送迎ステーションを整備

早朝、バス移動で登園



夕方、バス移動で降園



子育てするならここ男鹿で!

なまはげの里 男鹿市では「子育て環境日本一」を目指して様々な子育て支援策を実施中!!

4つの無償化の実現

県内初!

保育施設 おむつ無償化

令和7年10月から0歳~2歳児を対象に
おむつのサブスクを導入し
その費用を無償化

周辺市では
男鹿市
だけ!

保育料 無償化

0歳児~5歳児のすべての
こどもの保育料を無償化

県内の
市では
初!!

給食費 無償化

保育園、認定こども園、幼稚園
小・中学校等の給食費を無償化

医療費 無償化

高校3年生まで外来・入院共に
保険診療分の医療費自己負担分を全額助成

5つの補助金・給付金

入学準備 助成金

令和8年度入学予定者から
小学校3万円・中学校6万円
高校等10万円

お誕生 おめでとう祝金

生まれたこどもに10万円
※支給要件あり

在宅子育て 支援給付金

令和7年10月からこども一人当たり
月10,000円を15,000円に拡充
※助成要件あり

妊婦さん 応援給付金

妊娠している方に5万円
妊娠している子ども一人につき5万円
あきた出産・子育て応援給付金2万円

子育て世帯等 住まいづくり 応援補助金

新築住宅100万円助成
※助成要件あり

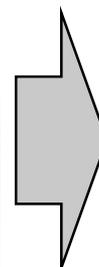
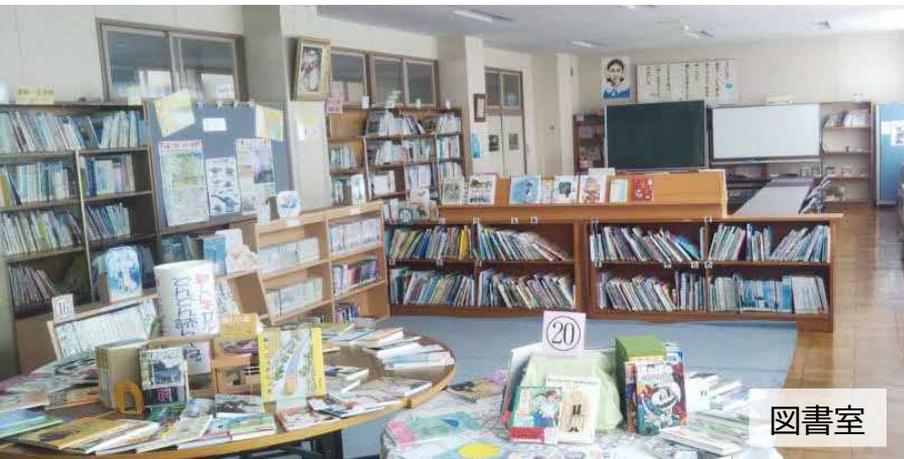
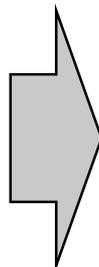


学校統合・船越小リノベーション

学校統合 (小学校4校、中学校2校) ※令和9年に小3校

- 男鹿市立小・中学校再編整備計画に基づき、
令和3年～令和7年 10校→6校

令和5年～令和6年 船越小学校 (約14億円)



遊休施設の活用（企業誘致）

旧夕陽温泉WAOを活用した陸上養殖



背景

旧夕陽温泉WAOは、開設から約30年が経過し、利用者数の減少による収入減や施設の老朽化等により、多額の費用を伴う大規模改修が必要になってくることから、民間譲渡に向けた公募を実施

効果

- N T T 東日本と地元水産事業者等の出資による新会社
- 県内初の閉鎖循環方式の陸上養殖
- ハタ科の高級魚（タマカイ）
⇒ 2027年からの出荷を目指す

遊休施設の活用（企業誘致）

廃校を利活用したパックご飯工場の建設



概要

- 事業費約39億円、農業振興や雇用創出を促進
- 「廃校」、男鹿の名水「滝の頭湧水」活用
- 「都市ガス」を使用し、年間5,500万食製造
※2割程度をアメリカなどへ輸出予定

需要の増大

- 一人暮らし・共働き世帯
料理に割く時間が減り、食事を手軽に
済ませたい方が増加
- 外国人
炊飯器を買わなくても食べられる など

遊休施設の活用（企業誘致）

廃校を利活用したデータセンターの進出

株式会社ハイレゾ



廃校データセンター
（佐賀県玄海町）



©（株）ハイレゾ 提供

データセンター内部



©（株）ハイレゾ 提供

- 自治体誘致としては県内「初」！
- 総務省「デジタルインフラ強靱化事業」に
空き校舎を事業地とする計画が採択

<市が認定した誘致企業> 男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energy合同会社
(株)ジャパン・パックス男鹿(廃校活用) (株)男鹿なまはげ魚工房(旧温泉施設活用)
J F E 商事秋田オフショアマテリアルズ(株) (株)キョウエイアドインターナショナル

広域行政の推進（人口減・高齢化への対応）

男鹿・湖東地区消防の統合

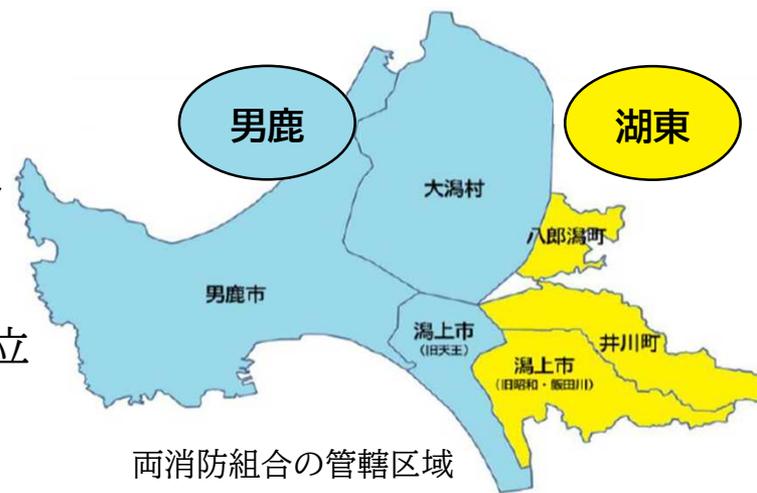
● 救急搬送需要の高まりや頻発する激甚災害への対応 消防サービスの維持・強化

広域化

- ・ 組織の効率化と活性化
- ・ 組織規模の拡大によるスケールメリット
⇒ 持続的な消防力の維持強化

経過

令和6年 7月 「男鹿・湖東地区消防広域化協議会」 設立
 令和7年10月 「広域消防運営計画」 策定
 令和8年 1月 「男鹿 潟上南秋消防組合」 設立
 令和8年 4月 「男鹿潟上消防本部」 運用開始



ごみ・し尿処理の広域化

● ごみ処理の広域化

秋田市・男鹿市・由利本荘市・潟上市・八郎湖周辺町村において「令和17年度広域化」を目指し、協議中

● し尿処理の広域化

秋田市・男鹿市・潟上市において「令和11年度広域処理開始」に向け、協議中

非認知能力（心の力）の育成

保育園・こども園、小学校、
中学校における取組

- ・ 学びを支える土台
- ・ 生涯にわたって役立つ能力

◎ 確かな学力

- ◎ 粘り強さ
→ 目標達成に向けて頑張る力につながる
- ◎ 思いやり・協調性
→ 豊かな人間性と社会性の育成につながる
- ◎ 言語コミュニケーション力
→ 人と関わる力につながる



ヒトづくりの推進

- 「利他の心」
…自分よりも人のため
- 「明るいあいさつ運動」

なまはげの里フィロソフィ

なまはげの道徳	利他の精神
明るさ・礼儀正しさ・謙虚さ・公平さ・正義感・優しさ・思いやり	人は、自分以外の誰かのために行動するとき、最高の力を発揮し、最高の喜びを感じる
第一章 すばらしい人生を送るために	
1 感謝の心をこめた、元気なあいさつが幸福を呼ぶ	6 人間として何が正しいか
2 自ら燃える集団をめざす	7 過ぎた日を悔やまず、
3 笑顔が幸福をまねく	8 明日を怖れず、今日を生きる
4 精進、仕事にうちこむ	9 運動する習慣を身につけよう
5 公明正大に	



男鹿市が目指す 5つのまちづくり

1. 産業が元気なまち
・ 挑戦する人が活躍するまち
2. 半島防災に向けた安全・安心なまち
3. 市民の暮らしと健康を守るまち
4. 子育ての希望があふれるまち
5. 市民と協働による持続可能なまち



「龍となれ 雲白すと来る」



天意夕陽を重んじ
人間晩晴を貴ぶ

ご清聴

ありがとうございました。

